

漁海況情報第9報 (2014年12月12日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

先月に続き本県の沿岸から沖合海域の水温は表面、100m層とも平年より低め、特に100m層の38° 30' N、142° 10' E付近に7℃台の冷水が見られます。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は、12～14℃台となっており、平年より低めとなっています。100m深水温は7～13℃台となっており、特に38° 30' N、142° 30' E付近に7℃台の冷水が見られ、平年より5℃も低めとなっています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると、気仙沼沖合ライン(38° 50' N)、亶理沖合ライン(38° N)の表層から水深100m付近までは12～14℃台で、水深200m以深の冷水との間で成層しています。雄勝沖合ライン(38° 30' N)の142° 10' E付近では水深150m付近に上方向への冷水が見られます [P2.水温鉛直断面図]。

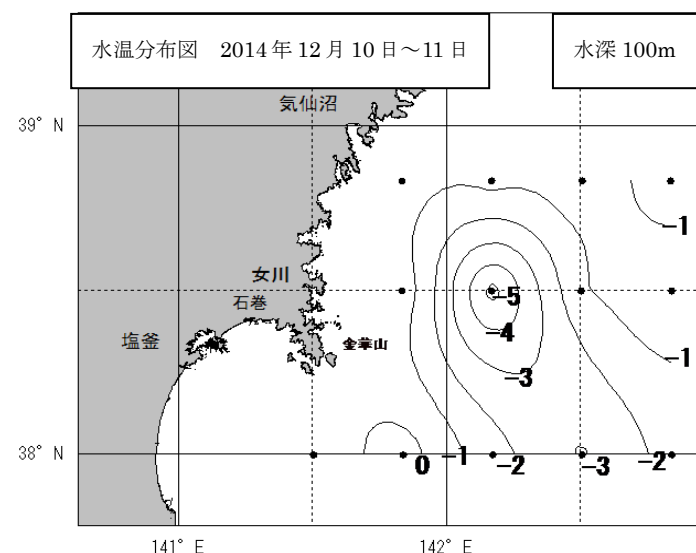
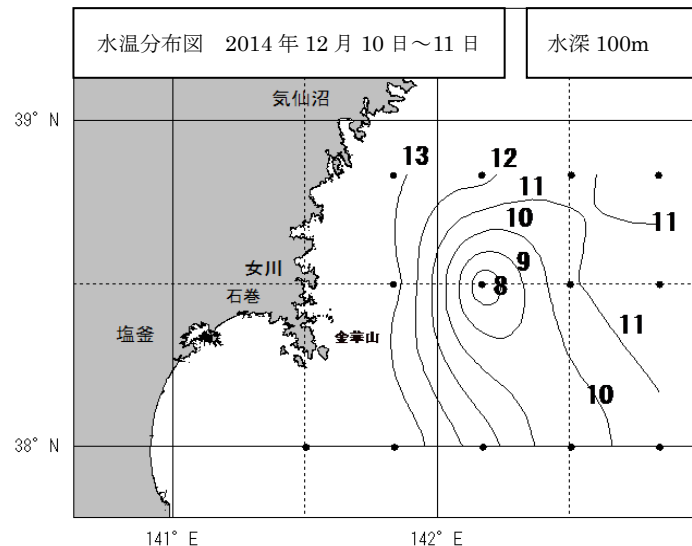
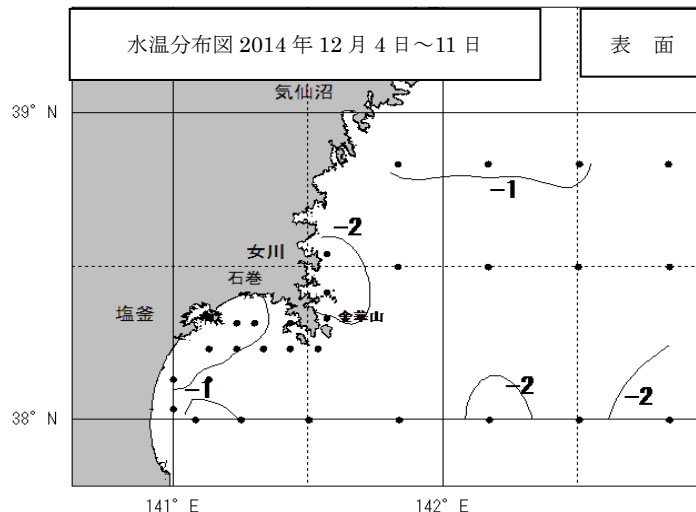
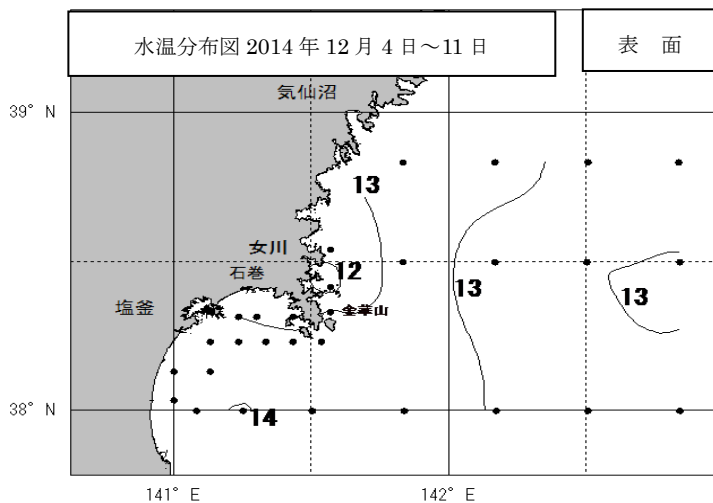
(一社) 漁業情報サービスセンターによると、親潮第一分枝の南下は停滞しているが、第二分枝は南下を再開し大船渡沖を西進し、三陸近海へ冷水を供給しているのがわかります。[P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

12月上旬の定地水温は9～13℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼(杉ノ下)及び田代島が「平年並み」、江島及び佐須浜が「やや低め」となっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、前年同期よりやや低めです [P3.海底直上水温図]。

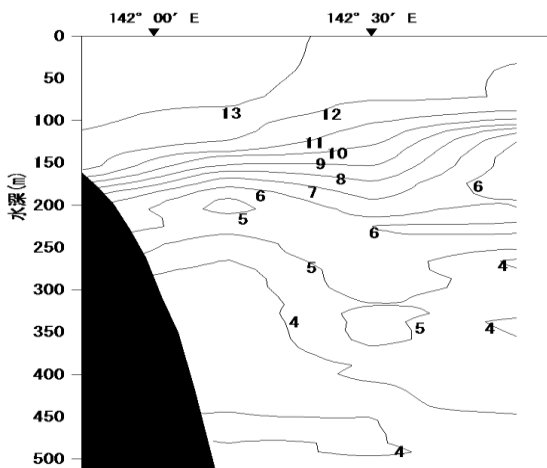
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

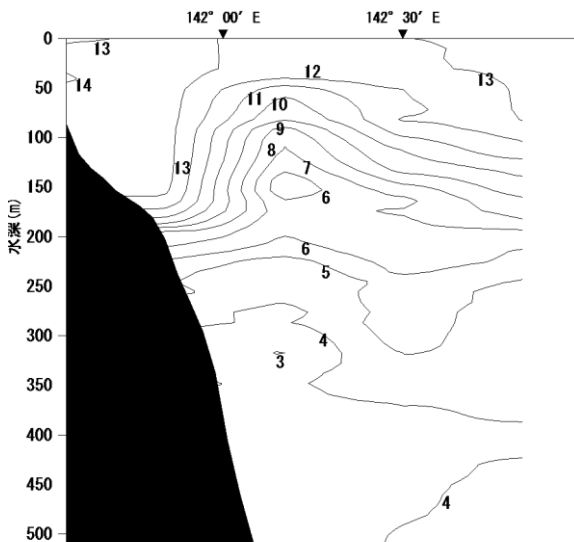


・水温鉛直断面図

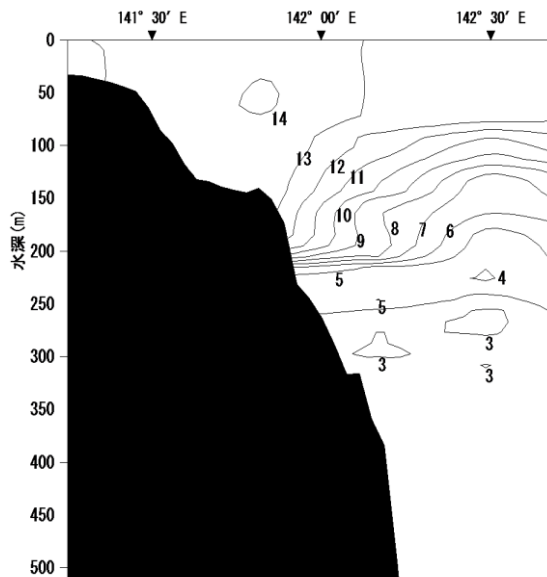
38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)

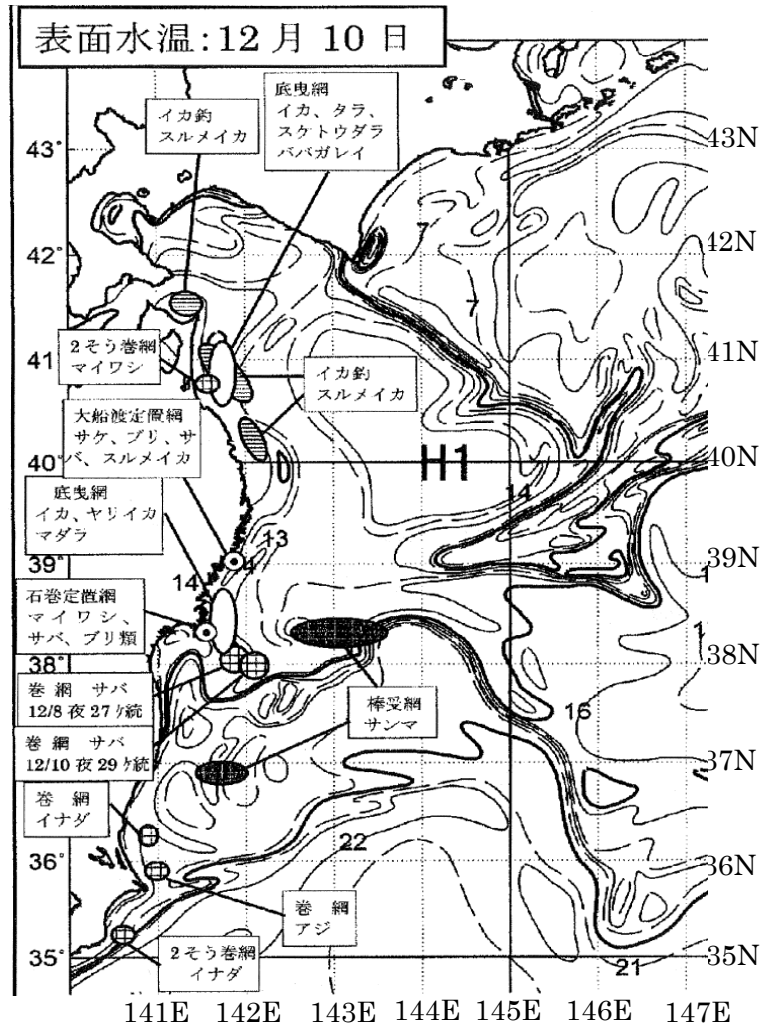


38° Nライン(亶理沖合ライン)



2014年12月10日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

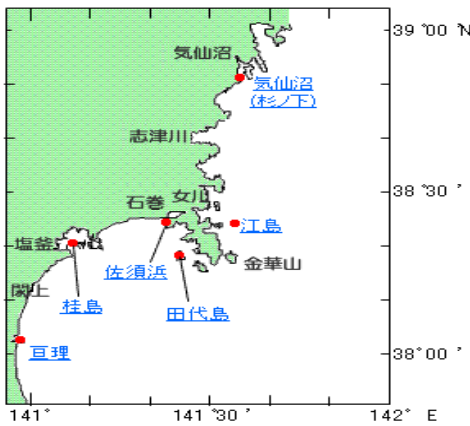
【海況】(12月10日表面水温)

- ・親潮第一分枝の南下は停滞しているが、第二分枝は南下を再開し大船渡沖を西進し、三陸近海へ冷水を供給。
- ・三陸沖暖水渦(H1)は中心水温13°C台に低下。
- ・仙台湾～常磐沖では水温差6°C(13～19°C)の明瞭な潮境が持続。
- ・下北～仙台湾13～14°C台。

【漁況】(12月5～10日)

- ・1そう巻網：金華山南東沖20～40海里付近で2夜操業、合計8,000t程度を漁獲。
- ・三陸定置網：マイワシ、サケ、サバ、ブリ、スルメイカ主体。
- ・サンマ漁業：金華山沖を主漁場に操業するも、まとまった漁獲が無く、水揚げは低調。

・定地海洋観測



観測点	12月上旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	12.3 °C	平年並み	-0.5 °C	-0.8 °C
江島	12.6 °C	やや低め	-1.2 °C	-0.5 °C
田代島	13.1 °C	平年並み	0.2 °C	-0.3 °C
佐須浜	11.3 °C	やや低め	-0.7 °C	-0.9 °C
桂島	9.6 °C	-	-	-0.1 °C
巨理	12.1 °C	-	-	-0.4 °C

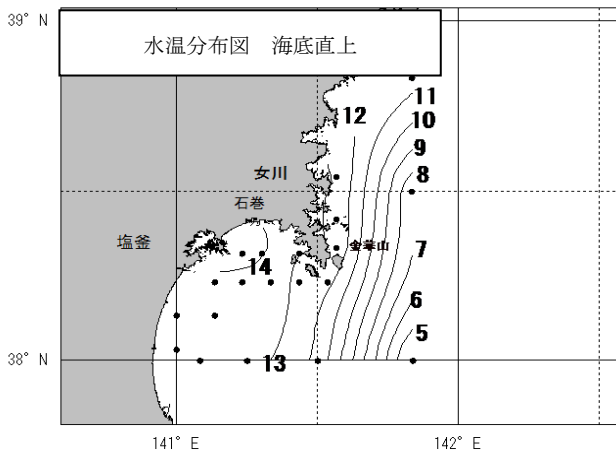
※田代島と佐須浜は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差：(気仙沼)杉ノ下, 江島, 田代島 (30年), 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年2月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

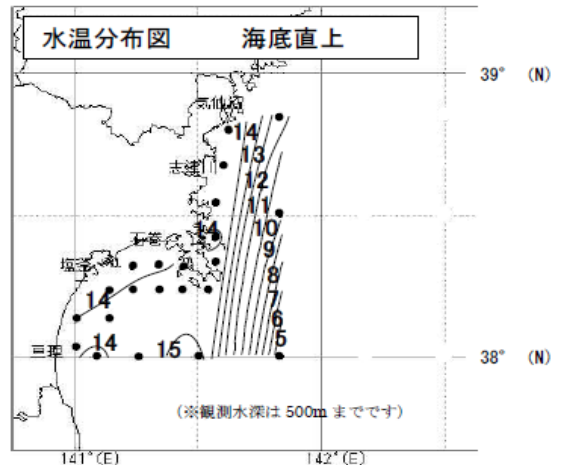
「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201412suion-index.html>」でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2014年12月4日～11日)

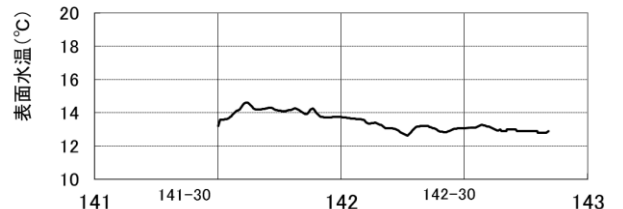
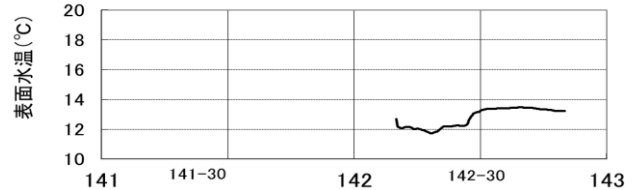
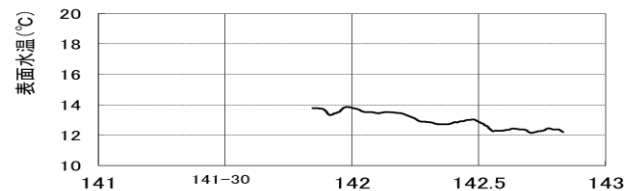
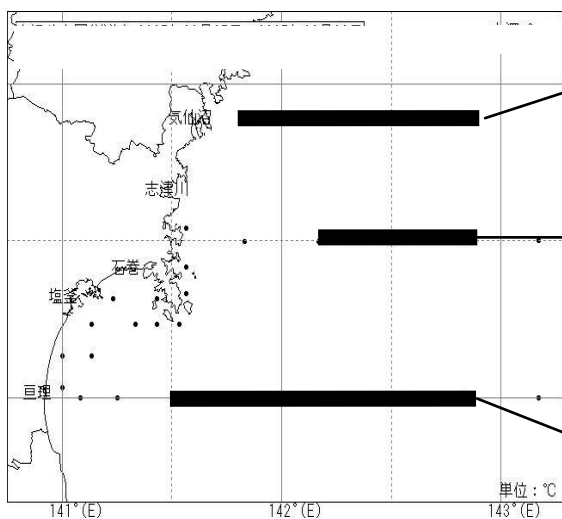


・海底直上水温(2013年12月2日～5日)



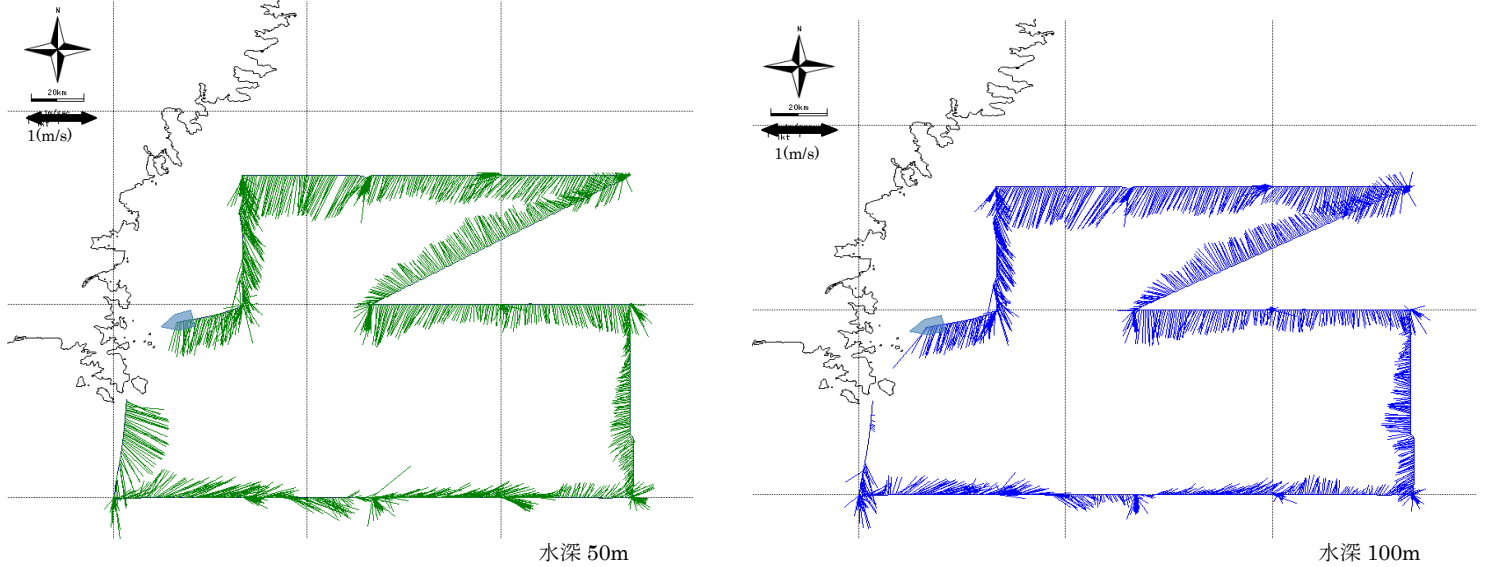
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。気仙沼沖、雄勝沖の流向は概ね南向きの流れが観測されました。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 26 年 11 月の水揚量を見ると、前年比でビンナガ、マイワシ、さば類、サンマ、スルメイカ、ヤリイカ、キアンコウ、マコガレイの水揚げが多くなっています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成26年11月1日~11月30日)

	単位:トン										前年同月比	
	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網全漁法	イカ釣り	延縄	その他		総計
カツオ					2				0	0	4	1%
ビンナガ					0				417	4	421	241%
クロマグロ(メジ含む)						1			2	3	6	112%
メバチマグロ(ダルマ含む)									350	23	373	67%
マイワシ	0					2,462				139	2,601	4797%
カタクチイワシ						193				7	200	21%
さば類	49	1	7,683			551	17			33	8,334	185%
サンマ				21,621		0				10	21,631	204%
ブリ	0	2	105			131	34			7	280	18%
マアジ	1	3				29	1			4	38	69%
サワラ	0	0				16	0		0	0	17	71%
スルメイカ	1,817	1				7	0	77		5	1,907	192%
ヤリイカ	272	44				32	0	1		1	350	682%
マダラ	177	0				0	32		4	318	531	57%
スケトウダラ	6	0				0	2		0	10	18	10%
キチジ										1	1	7%
キアンコウ	12	6				0	0			0	19	146%
マアナゴ	9	18				0	2			42	71	68%
ヒラメ	16	69				12	9			7	113	55%
マコガレイ	1	8				1	1			2	13	238%
マガレイ	25	41				0	0			0	67	68%
サメガレイ	0								0	0	0	1%
ババガレイ	10	0				0	0			2	13	67%
シロサケ	51	2				1,182	176			535	1,946	72%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)
 ※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

秋サバの水揚げが本格化

11月以降、脂の乗った秋サバが本県周辺海域にて漁獲され、11月の水揚量は震災前5年平均を上回り、震災後では最も多くなっています（図1）。

過去に卓越年級とされたマサバ2004年級は、2年後（2006年）に本県へのサバ水揚げ増加に大きく貢献しており（図2）、来年2013年級がどの程度サバの水揚げ増加に貢献できるのか今後の漁獲動向が注目されます。

12月に入り、31cm以上（2～3歳魚）の良型のマサバもまき網の主体となって漁獲されるようになってきており、こちらの漁獲動向も注目されます。

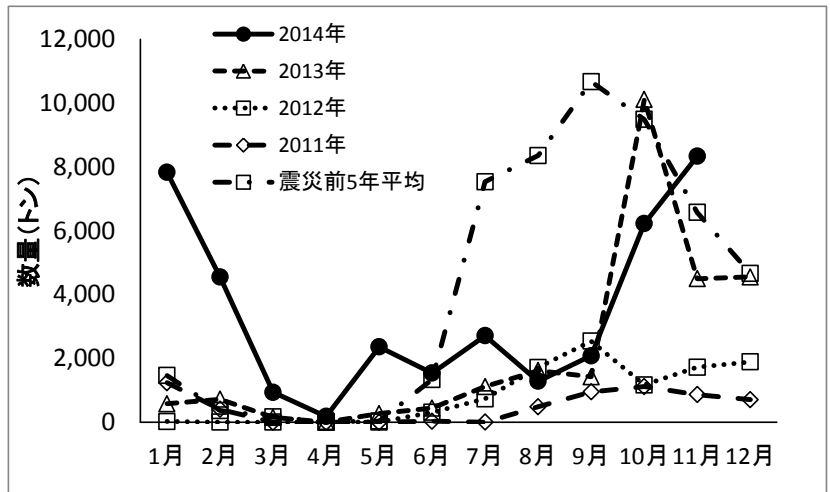


図1 さば類月別水揚量の推移（県内10市場の合計）

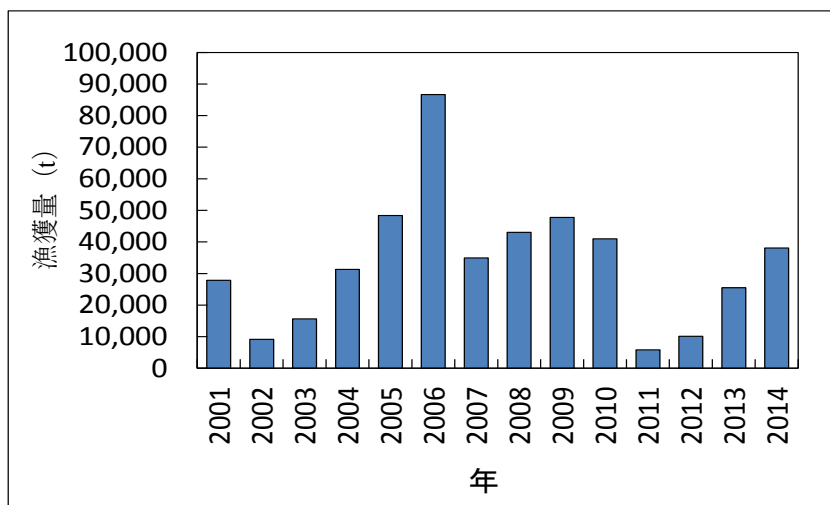


図2 さば類年別水揚量の推移

小羽イワシの水揚げが好調

11月上旬から金華山の大型定置網においてマイワシが大漁となり、11月の水揚量は2,601トンで平年を大きく上回っています（図3）。

マイワシ2014年級は、今年の7月以降太平洋沿岸各地で豊漁をもたらしている年級群であり、資源水準が非常に高い可能性が示唆されます。

12月に入っても小羽イワシ中心に石巻・女川魚市場へ連日100トン～270トン程度水揚げされていますが、20cm前後の大中羽イワシも少しずつ混じってきています。近年の傾向から、江島の定地水温が12.5℃以下になると大型定置網への大中羽イワシの入網が多くなることから、今後の水揚げ増加が期待できます。

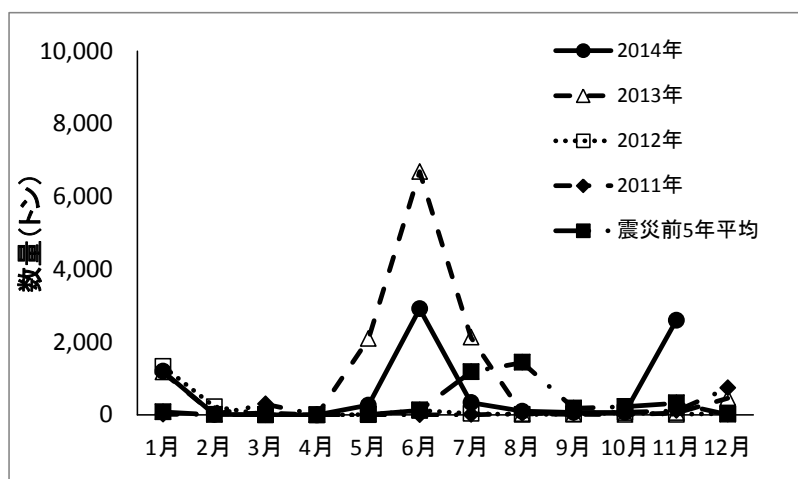


図3 マイワシの月別水揚量の推移（県内10市場の合計）

イカナゴ夏眠期調査速報

11月11-12日に仙台湾においてイカナゴ夏眠期調査を爪曳にて行いました。その結果、1989年からの統計で3番目に密度が高いことがわかりました(図4)。

今後、体長組成や耳石解析を行い、来年1月の稚仔魚調査、3月の漁期前調査の結果も併せ、来年の春漁会議において報告します。

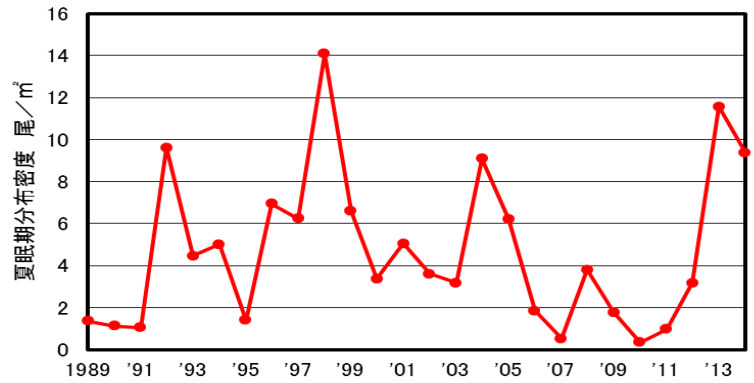


図4 イカナゴ夏眠期分布密度

5. 調査船運航計画

みやしお	
12月15日 ~ 12月19日	仙台湾シスト調査
開 洋	
12月11日 ~ 12月19日	一般整備工事